

## 鹿児島県初記録のナガハチオコゼ *Neocentropogon aeglefinus japonicus* と標本に基づく鹿児島県産ハオコゼ科魚類の記録

荻原豪太<sup>1</sup>・本村浩之<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-24 鹿児島大学大学院連合農学研究所

<sup>2</sup> 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

### はじめに

ハオコゼ科魚類はインド・太平洋域において少なくとも 11 属 38 種が有効種として認められている (Nelson, 2006). そのうち日本近海からはツマジロオコゼ *Ablabys taenianotus* (Cuvier, 1829), ナガハチオコゼ *Neocentropogon aeglefinus japonicus* Matsubara, 1943, ヒレナガハチオコゼ *Neocentropogon* sp., シマハチオコゼ *Ocosia fasciata* Matsubara, 1943, ハチオコゼ *Ocosia vespa* Jordan and Starks, 1904, ハオコゼ *Paracentropogon rubripinnis* (Temminck and Schlegel, 1844), ヤマヒメ *Snyderina yamanokami* Jordan and Starks, 1901, アゴヒゲオコゼ *Tetraroge barbata* (Cuvier, 1829), およびヒゲソリオコゼ *Tetraroge niger* (Cuvier, 1829) の 9 種が報告されている (中坊, 2000; Nakabo, 2002; 山田, 2007).

*Neocentropogon aeglefinus japonicus* は、高知県沖から採集された 1 標本に基づき 1943 年に新種記載され、同時に新和名ナガハチオコゼが提唱された。現在、ナガハチオコゼは国内では高知県のみ、国外では東シナ海や南シナ海などの西部太平洋に分布することが知られている (Poss, 2000; 中坊, 2000; Nakabo, 2002; 石田, 2006).

2010 年 7 月 8 日に鹿児島県大隅半島北東部に

位置する志布志沖においてナガハチオコゼと同定される 1 標本が底曳網によって採集された。この標本は本種の鹿児島県における標本に基づく初めての記録であるため、ここに報告する。同時に鹿児島大学総合研究博物館に所蔵されている鹿児島県産のハオコゼ科魚類の標本もここに記録する。

### 材料と方法

計数・計測方法は Motomura (2004a, b), および Motomura et al. (2006, 2008) に、頭部の棘の名称は本村ほか (2004) にしたがった。計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位まで行った。鰓耙数は、頭部左側の第 1 鰓弓を計数した。標準体長は体長と表記した。生鮮時の体色の記載は、固定前に撮影されたカラー写真に基づく。本報告で用いた標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM: Kagoshima University Museum) と京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所 (FAKU: Department of Bioresource Science, Faculty of Agriculture, Kyoto University) に所蔵されている。

### ナガハチオコゼの記録

*Neocentropogon aeglefinus japonicus* Matsubara, 1943  
ナガハチオコゼ (Figs. 1, 2; Table 1)

*Neocentropogon aeglefinus japonicus* Matsubara, 1943: 432, fig. 144 (type locality: Kochi, Japan); Nakabo, 1984: 304, pl. 285, fig. C (Kochi); Nakabo, 1988: 304, pl. 285, fig. C (Kochi); Nakabo, 1993: 521 (Kochi); Chen, 1997: 171, unnumbered fig. (East China Sea and South China

Ogihara, G. and H. Motomura. 2012. First record of *Neocentropogon aeglefinus japonicus* from Kagoshima Prefecture, southern Japan, with a synopsis of waspfishes (Scorpaeniformes: Tetrarogidae) in Kagoshima Prefecture. *Nature of Kagoshima* 38: 139-144.

☑ GO: The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University, 1-21-24 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: go.synanceiidae@gmail.com).



Fig. 1. Fresh specimen of *Neocentropogon aeglefinus japonicus*. KAUM-I. 30815, 82.9 mm SL, Shibushi Bay, Kagoshima, Japan.

Sea); Nakabo, 2000: 599 (Kochi); Shinohara et al., 2001: 314 (Kochi); Nakabo, 2002: 599 (Kochi).

*Neocentropogon japonicus*; Klauswitz, 1985: 21; Poss, 2000: 605 (South China Sea); Ho et al., 2009: 28, fig. 1 (Taiwan); Quéro et al., 2011: 99 (Japan).

**標本** KAUM-I. 30815, 体長 82.9 mm, 鹿児島県志布志市志布志町沖 (31°38'N, 131°14'E), 水深 70–100 m, 底曳網, 2010 年 7 月 8 日, 荻原豪太・山下真弘・大橋祐太.

**記載** 計数値と体各部の標準体長に対する割合は Table 1 に示す. 体は中庸で, 後方にくにつれて側扁する. 頭部は大きく, 体長は頭長の 2.6 倍. 上顎後端は, 瞳孔後端直下に位置する. 下顎先端に鋭く尖る骨質突起が発達する. 上下両顎に繊毛状歯が並ぶ. 鋤骨歯と口蓋骨歯がある. 鼻孔は 2 対. 体全体が小円鱗に被われる. 側線は鰓蓋後端上部の直後から始まり, 尾鰭基底まで走り, 後方に向かってゆるやかに傾斜する. 背鰭棘条部の鰭膜は深く切れ込む. 胸鰭後端は背鰭 13 棘直下付近に達する. 腹鰭を閉じたときの後端は肛門に達しない. 腹鰭の最後軟条は腹部と鰭膜で接合する. 胸鰭の下から 5 軟条が不分岐で後端が伸長する. 背鰭と臀鰭の最後軟条は鰭膜でそれぞれ尾

柄の背面と腹面と接合する. 涙骨隆起は皮下に埋没する. 涙骨後方棘は涙骨前方棘よりも長く, その後端は眼の中央直下付近まで達する. 眼下骨は 1 本の隆起線がある. 前頭骨隆起はよく発達し, 鼻棘と吻膨状部の直後から眼の中央直上付近まで達する. 眼前棘, 眼上棘, 上後側頭棘, 下後側頭棘, 頭頂棘, 頸棘, 上擬鎖骨棘, 主鰓蓋骨上方棘, 主鰓蓋骨下方棘および前鰓蓋骨棘は単尖頭.

**体色** 生鮮時の体色は, 体全体が灰褐色で, 腹側にいくにつれて灰色が強くなる. 側線の周辺はやや濃い褐色. 背鰭は灰褐色で基部に近いほど淡い褐色. 腹鰭と臀鰭は基部から外縁にかけて灰色から黒褐色になる. 尾鰭は黒褐色. 胸鰭は基部から後端にかけて褐色から黒褐色になる.

固定後の体色は, 生鮮時の褐色が消失し, 頭部, 背鰭および腹鰭が灰黒色. 体は灰色で腹側に向かって淡い灰色になる. 胸鰭, 尾鰭および腹鰭はかすんだ黒色.

**分布** 本種は東シナ海 (Chen et al, 1997), 台湾 (Ho et al., 2009), および南シナ海 (Chen et al., 1997; Poss, 2000) などの西部太平洋に分布し, 日本国内では, 高知県沖 (中坊, 2000; Shinohara et al., 2001; Nakabo, 2002) と鹿児島県 (本研究) からの記録がある.

**備考** 本標本は、口蓋骨歯がある、体高は体長の29–33%である、上顎長は体長の17–19%であるなどからナガハチオコゼ属に同定される(Poss, 1999). さらに背鰭が15棘7軟条、臀鰭が7軟条、背鰭棘条部の鰭膜が深く切れ込む、体が小円鱗に被われるなどの形質から、Matsubara (1943) の記載とよく一致し、*Neocentropogon aeglefinus japonicus* と同定された。



Fig. 2. Holotype of *Neocentropogon aeglefinus japonicus*. FAKU 1761, 96.6 mm SL, off Kochi, Japan.

Table 1. Counts and measurements, expressed as percentages of standard length, of specimens of *Neocentropogon aeglefinus japonicus*.

	<i>Neocentropogon aeglefinus japonicus</i>	
	KAUM-I. 30815 Kagoshima, Japan	FAKU 1761 Kochi, Japan Holotype
Standard length (mm)	82.9	96.6
Counts		
Dorsal fin rays	XV, 7	XV, 7
Anal fin rays	III, 7	III, 7
Pectoral fin rays (left / right)	15 / 15	15 / 15
Pelvic fin rays	I, 5	I, 5
Pored lateral line scales (left / right)	23 / 22	22 / 23
Gill rakers	5 + 13	4 + 11
Measurements		
Body depth	32.9	29.7
Body width	17.2	15.2
Head length	38.1	38.8
Snout length	10.3	9.9
Orbit diameter	11.9	12.8
Interorbital width	5.9	5.5
Head width	20.3	20.2
Upper jaw length	18.1	18.9
Maxilla depth	6.2	5.9
Postorbital length	17.5	18.4
Predorsal fin length	19.8	21.9
Preanal fin length	61.3	65.9
Prepelvic fin length	33.3	32.2
1st dorsal fin spine length	—	8.5
2nd dorsal fin spine length	11.3	—
3rd dorsal fin spine length	—	16.3
4th dorsal fin spine length	13.1	15.0
5th dorsal fin spine length	13.8	15.7
6th dorsal fin spine length	—	—
7th dorsal fin spine length	—	—
8th dorsal fin spine length	—	—
9th dorsal fin spine length	—	—
10th dorsal fin spine length	—	—
11th dorsal fin spine length	13.8	—
12th dorsal fin spine length	15.6	—
13th dorsal fin spine length	15.2	—
14th dorsal fin spine length	15.8	—
15th dorsal fin spine length	—	—
Longest dorsal fin soft ray length (2nd)	20.1	17.8
1st anal fin spine length	—	—
2nd anal fin spine length	—	—
3rd anal fin spine length	—	—
Longest anal fin soft ray length (3rd)	19.3	17.9
Pectoral fin length	36.3	31.1
Pelvic fin spine length	16.0	14.2
Longest pelvic fin ray length (2nd)	22.3	21.1
Caudal fin length	33.3	29.8
Caudal peduncle length	16.5	15.4
Caudal peduncle depth	9.5	9.1

本研究で用いた鹿児島産の標本と *N. aeglefinus japonicus* のタイプ標本 (FAKU 1761, 96.6 mm SL, 高知県沖; Fig. 2) を比較した結果, 計測形質では 0.1–5.2% の変異幅があり, 計数形質では 鰓耙の上枝で 1 本, 下枝で 2 本の差異があった (Table 1). 本研究では, 比較標本数が少ないことやタイプ標本の状態が良くないことから計測値と鰓耙数の若干の相違は種内変異であると判断した。

ナガハチオコゼは今回鹿児島県から初めて報告され, 日本国内における 2 か所目の産地記録となる。本種は大陸棚縁辺域に生息していることから (中坊, 2000), 今後, 高知県や鹿児島県のみならず, 広く国内の太平洋や東シナ海から採集される可能性が高い。

## ■ 鹿児島県ハオコゼ科魚類の記録

### *Ablabys taenianotus* (Cuvier, 1829)

#### ツマジロオコゼ (Fig. 3)

標本 KAUM-I. 2013, 体長 59.3 mm, 与論島, 水深 0–11 m, タモ網, 1961 年 7 月; KAUM-I. 2909, 体長 60.3 mm, 南さつま市笠砂町片浦高崎山地先 (31°26'00"N, 130°10'05"E), 水深 27 m, 定置網, 2006 年 11 月 10 日, 寺床尚也; KAUM-I. 20310, 体長 68.1 mm, 屋久島栗生カマゼノ鼻西側 (30°16'03"N, 130°24'48"E), 水深 0–11 m, タモ網, 2008 年 8 月 30 日, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 37692, 体長 42.0 mm, 硫黄島南側 (30°46'32"N, 130°16'43"E), 水深 5–6 m, タモ網, 2011 年 5 月 12 日, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 39723, 体長 22.0 mm, 与論島品覇海岸 (27°03'41"N, 128°25'00"E), 水深 1–2 m, タモ網, 2011 年 8 月 8 日, KAUM 魚類チーム。

**分布** 本種はインド・太平洋に広く分布し (中坊, 2000; 石田, 2006), 日本国内では, 紀伊半島以南 (中坊, 2000; Nakabo, 2002; 石田, 2006) に生息する。鹿児島県では, 薩摩半島西岸, 硫黄島, 屋久島, 与論島から採集されている (Motomura et al., 2011; 本研究)。

### *Paracentropogon rubripinnis* (Temminck and Schlegel, 1844)

#### ハオコゼ (Figs. 4, 5)

標本 KAUM-I. 213, 体長 41.3 mm, 南さつま市笠砂町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 定置網, 2006 年 7 月 1 日, 伊東正英; KAUM-I. 449, 体長 35.9 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2006 年 3 月 30 日; KAUM-I. 492, 体長 36.6 mm, 肝属郡肝付町波見 (31°20'N, 131°04'E), 水深 40 m, 定置網, 2006 年 2 月 24 日, 中畑勝見;

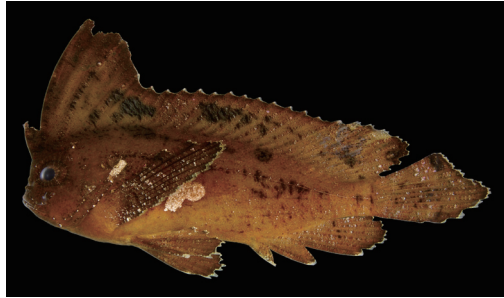


Fig. 3. Fresh specimen of *Ablabys taenianotus*. KAUM-I. 20310, 68.1 mm SL, west of Kamazeno-hana, Kurio, Yaku-shima, Kagoshima, Japan.

KAUM-I. 990, 体長 35.3 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2006 年 1 月 26 日; KAUM-I. 1361, 体長 48.6 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2006 年 12 月 12 日; KAUM-I. 3560, 体長 33.3 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2006 年 3 月 6 日; KAUM-I. 4662, 体長 42.9 mm, 指宿市知林ヶ島沖 (31°16'38"N, 130°40'18"E), 水深 25 m, 定置網, 2007 年 7 月 4 日, 折田水産; KAUM-I. 4674, 体長 50.1 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 4675, 体長 44.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 4676, 体長 44.1 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 4677, 体長 39.6 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 4678, 体長 37.8 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 4679, 体長 41.2 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ; KAUM-I. 5412, 体長 41.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5413, 体長 49.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5414, 体長 44.0 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5415, 体長 36.3 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5416, 体長 51.0 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5417, 体長 46.8 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5418, 体長 33.4 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5419, 体長 52.3 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 7 月 25 日; KAUM-I. 5952, 体長 44.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 8 月 8 日; KAUM-I. 5963, 体長 42.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 8 月 8 日; KAUM-I. 5971, 体長 42.5 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2007 年 8 月 8 日; KAUM-I. 7499, 体長 27.8 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2006 年 2 月 24 日; KAUM-I. 17732, 体長 31.9 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2009 年 3 月 28 日; KAUM-I. 21115, 体長 48.7 mm, 出水郡長島町諸浦 (32°13'23"N, 130°10'32"E), 水深 12 m, タモ網, 2009 年 6 月 30 日, 荻原豪太・出羽慎一; KAUM-I. 21116, 体長 55.2 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21117, 体長 42.8 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21118, 体長 58.6 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21119, 体長 76.0 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21120, 体長 72.4 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21121, 体長 50.0 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21122, 体長 67.3 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21123, 体長 69.8 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21124, 体長 49.4 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21124, 体長 49.4 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ;



Fig. 4. Fresh male specimen of *Paracentropogon rubripinnis*. KAUM-I. 5417, 46.8 mm SL, off Chiringa Island, Ibusuki, Kagoshima, Japan.



Fig. 5. Fresh female specimen of *Paracentropogon rubripinnis*. KAUM-I. 1361, 48.6 mm SL, east of Sakinoyama, Kataura, Kasasa, Minami-satsuma, Kagoshima, Japan.

タは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21125, 体長 49.3 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21126, 体長 69.0 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21127, 体長 65.6 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21128, 体長 62.9 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21129, 体長 41.4 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21130, 体長 44.1 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21131, 体長 36.6 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21132, 体長 37.9 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21133, 体長 74.4 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21134, 体長 57.0 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 21135, 体長 42.5 mm, データは KAUM-I. 21115 と同じ; KAUM-I. 22773, 体長 49.3 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2009 年 5 月 29 日; KAUM-I. 25244, 体長 40.3 mm, いちき串木野市戸崎漁港内 (31°39'45"N, 130°18'11"E), 水深 0-5 m, タモ網, 2008 年 6 月 1 日, 岩坪洗樹; KAUM-I. 25245, 体長 37.6 mm, データは KAUM-I. 25244 と同じ; KAUM-I. 25281, 体長 41.2 mm, データは KAUM-I. 25244 と同じ; KAUM-I. 25957, 体長 42.8 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2009 年 10 月 2 日; KAUM-I. 25958, 体長 36.8 mm, データは KAUM-I. 213 と同じ, 2009 年 10 月 2 日; KAUM-I. 28197, 体長 43.1 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2010 年 4 月 7 日; KAUM-I. 29089, 体長 36.4 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深 40 m, 定置網, 2010 年 3 月 8 日, 山田守彦; KAUM-I. 29090, 体長 31.5 mm, データは KAUM-I. 29089 と同じ; KAUM-I. 38609, 体長 41.3 mm, データは KAUM-I. 4662 と同じ, 2011 年 6 月 1 日.



Fig. 6. Fresh specimen of *Snyderina yamanokami*. KAUM-I. 9519, 29.5 mm SL, east of Sakinoyama, Kataura, Kasasa, Minami-satsuma, Kagoshima, Japan.

**分布** 本種は朝鮮半島南部などの東アジアに分布し (中坊, 2000), 日本国内では, 本州中部以南の沿岸域 (中坊, 2000; Nakabo, 2002; 石田, 2006) に生息する. 鹿児島県では, 県北西部, 薩摩半島西岸, 鹿児島湾, 大隅半島東岸から採集された (本研究).

#### *Snyderina yamanokami* Jordan and Starks, 1901

##### ヤマヒメ (Fig. 6)

**標本** KAUM-I. 9519, 体長 29.5 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 定置網, 2008 年 4 月 14 日, 辻 幸広.

**分布** 本種は南シナ海 (Poss, 2000) などの西部太平洋に分布し, 日本国内では相模湾から奄美大島まで (中坊, 2000; Nakabo, 2002; 石田, 2006) 記録されている. 鹿児島県では, 薩摩半島西岸からのみ確認された (本研究).

##### ■ 謝辞

タイプ標本の調査を行う機会を与えてくれた京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所の甲斐嘉晃博士に感謝する. 本研究を行うに当たり, 標本採集にご協力下さった岩下正臣氏をはじめとする志布志漁業協同組合のみなさま, 折田正二氏をはじめとする折田水産のみなさま, 笠沙町片浦漁業協同組合の寺床尚也氏, 笠沙町片浦漁業協同組合丸世大吉漁業生産組合の伊東正英氏, 南さつま市の辻 幸広氏, 有限会社えこふあーむの中村義幸氏, かごしま水族館公社の中畑勝見

氏ならびに山田守彦氏，ダイビングサービス「海案内」の出羽慎一氏に深謝する。文献情報を提供してくださった国立科学博物館動物研究部の片山英里博士と北海道大学大学院水産科学院の大橋慎平氏に心より感謝する。標本の作製や登録を手伝って下さった鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの高山真由美女史と原口百合子女史に厚くお礼申し上げる。本原稿に対し適切な助言を下された鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室のみなさまに感謝する。本研究の一部は，鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性プロジェクト」と国立科学博物館の「黒潮プロジェクト（浅海性生物の時空間分布と巨大海流の関係を探る）」の一環として行われた。

## 引用文献

- Chen, Q.-C. (ed.). 1997. Fishes from Nansha Islands to South China Coastal Waters 1. Science Press, Beijing, xx + 202 pp.
- Ho, H.-C., K.-T. Shao, and C.-W. Chang. 2009. Three new records of the scorpaeniform fishes in Taiwan. *Platax*, 6: 27–34.
- 石田 実. 2006. ハオコゼ科, p. 210. 岡村 収・尼岡邦夫 (編). 日本の海水魚. 第3版. 山と溪谷社, 東京.
- Klausewitz, W. 1985. Tiefenwasser- und Tiefseefische aus dem Roten Meer. XI. *Neocentropogon mesedai* n. sp. aus dem Mesobenthos. *Senckenbergiana Maritima*, 17 (1/3): 15–23.
- Matsubara, K. 1943. Studies on the scorpaenoid fishes of Japan (II). *Transactions Sigenkagaku Kenkyusyo* No. 2: 171–486, 4 pls.
- Motomura, H. 2004a. New species of Scorpionfish, *Scorpaena cocosensis* (Scorpaeniformes: Scorpaenidae) from the Cocos Islands, Costa Rica, eastern Pacific Ocean. *Copeia*, 2004 (4): 818–824.
- Motomura, H. 2004b. Revision of the scorpionfish genus *Neosebastes* (Scorpaeniformes: Neosebastidae), with descriptions of five new species. *Indo-Pacific Fishes*, (37): 1–76.
- Motomura, H., K. Kuriwa, E. Katayama, H. Senou, G. Ogihara, M. Meguro, M. Matsunuma, Y. Takata, T. Yoshida, M. Yamashita, S. Kimura, H. Endo, A. Murase, Y. Iwatsuki, Y. Sakurai, S. Harazaki, K. Hidaka, H. Izumi and K. Matsuura. 2010. Annotated checklist of marine and estuarine fishes of Yaku-shima Island, Kagoshima, southern Japan. Pp. 65–248 in H. Motomura and K. Matsuura (eds.), *Fishes of Yaku-shima Island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan*. National Museum of Nature and Science, Tokyo.
- Motomura, H., P. R. Last, and M. F. Gomon. 2006. A new species of the scorpionfish genus *Maxillicosta* from the southeast coast of Australia, with a redescription of *M. whitleyi* (Scorpaeniformes: Neosebastidae). *Copeia*, 2006 (3): 445–459.
- Motomura, H., P. R. Last, and J. W. Johnson. 2008. Review of the waspfish genus *Lioocranium* (Scorpaeniformes: Tetrarogidae), with restoration of *L. pleurostigma* (Weber). *Zootaxa*, 1820: 27–40.
- 本村浩之・吉野哲夫・高村直人. 2004. 日本産フサカサゴ科オニカサゴ属魚類 (Scorpaenidae: *Scorpaenopsis*) の分類学的検討. *魚類学雑誌*, 51 (2): 89–115.
- 中坊徹次. 1984. ハオコゼ科, pp. 304–305, pls. 285, 360. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編). 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次. 1988. ハオコゼ科, pp. 304–305, pls. 285, 360. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編). 日本産魚類大図鑑. 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次. 1993. ハオコゼ科, pp. 521–522, 1298–1299. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次. 2000. ハオコゼ科, pp. 599–600, 1528–1590. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- Nakabo, T. 2002. Tetrarogidae, pp. 599–600, 1522. In T. Nakabo (ed.). *Fishes of Japan with pictorial keys to the species*, English ed. Tokai University Press, Tokyo.
- Nelson, J. S. 2006. *Fishes of the world*. Fourth edition. John Wiley & Sons, Hoboken, xix + 601pp.
- Poss, S. G. 1999. Scorpaenidae. Scorpionfishes (also, lionfishes, rockfishes, stingfishes, stonefishes, and waspfishes), pp. 2291–2352. In K. E. Carpenter and V. H. Niem (eds.). *FAO species identification guide for fishery purpose. The living marine resources of the western central Pacific*. Vol. 4. Bony fishes part 2 (Mugilidae to Carangidae). FAO, Rome.
- Poss, S. G. 2000. Scorpaenidae, pp. 604–606. In J. E. Randall and K. K. P. Lim (eds.). *A checklist of the fishes of the South China Sea*. The Raffles Bulletin of Zoology Supplement, No. 8, Singapore.
- Quéro, J.-C., J. Spitz and J.-J. Wayne. 2011. Une éruption volcanique débusque *Neocentropogon profundus* (Tetrarogidae, Scorpaenoidei) à l'île de la Réunion (océan Indien). *Cybium*, 34 (2): 99–103.
- Shinohara, G., H. Endo, K. Matsuura, Y. Machida and H. Honda. 2001. Annotated checklist of the deepwater fishes from fishes from Tosa Bay, Japan. *Monographs of the National Science Museum, Tokyo*, (20): 283–343.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次. 2007. 東シナ海・黄海の魚類誌. 東海大学出版会, 秦野, lxxiv + 1263 pp.